

魅力的に学ぶなら、やっぱり、教職員組合！



「自分の力を発揮した教育課程の自主的・民主的な編成を！」

皆さんは、八月終盤に行われた「教育課程説明会」に参加されましたか。あの無味乾燥な時間はいったい何だったのでしょうか。私たち教職員が求める本当の学び合いとは、子どものことを真ん中にした、自由で自主的なものであるはずですよ。

二学期も三週間が過ぎ、運動会・体育祭・文化祭等の行事づくりもたけなわです。秋本番、子どもたちははじける笑顔に信頼を寄せ、引き続きともに学んでいきましょう。

浦和地区

「自分を生きる勇気を！」

浦和地区の今夏季教研は、「世界がどんなになっても子どもたちを祝福しよう」「自分を生きる勇気」を伝えよう」の基調提案のもと八月二五日に実施しました。小中高の教職員ならびに、父母が多数参加しました。

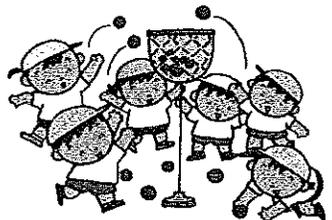
「自分の力を発揮した教育課程の自主的・民主的な編成を！」

午前中は真の学力を見据えた教育課程の自主的、民主的な編成に取り組むことを柱に、国語・社会・体育・問題行動・学級活動・入試問題・民主的職場づくり・教育課程・障害児教育の九つの分科会で、二〇のレポートについて協議がなされました。

「浦和地区」という限られた地域の中でも、ふだんあまりできない交流を深めることができました。

「子どもの最善の利益」を最優先に！（能重真作氏）

午後は全生研中央常任委員で教育評論家の能重真作氏による記念講演を行いました。その中で「教師は今、排除や見せしめではなく『子どもの最善の利益』を最優先にした関係機関との教育的連携のあり方について、きちんとした議論をする必要がある」という言葉が私たちの課題として語られました。



与野地区

与野の教研の特徴として、次の四点があげられると思います。

各分科会での教職員会

一つ目は、教文委員会を組織していることです。執行委員とは別に各分科会ごとに委員を決め、会議に参加しています。教文委員会で単組教研・学習会などの計画を論議し、執行委員会に提案しています。

二日間の教研集会

二つ目は、2日間でやっている単組教研です。今年は1日目に教科や生活指導などの分科会を開催し、2日目に実技教室・実践交流会・記念講演を行いました。

特に閉会集会はなごやかな雰囲気で行おうと話し合い、ここ何年間は飲み物を飲みながら行っています。

夏期講習会

三つ目は、学習会です。要望にそって他の団体と共催をしています。

一学期に行った学習会は、埼生研与野サークルと共催して取り組みました。

秋の文化講演会

四つ目は、秋の文化講演会です。民主主義をすすめる与野市民会と共催し、幅広く父母・市民に還元しようと、主任手当てを出金を使用して、コンサートなどを行っています。



大宮地区

大宮地区教研では、午前に教科・専門部分科会、午後問題別分科会、記念講演会を実施しました。

「HAPPY LEARNING」

問題別分科会「子どもの心をきく」では、給食室からの実践報告。食材の計算やレシピを教えたりする中で、子どもが意欲的になったり、生活が見えてきたりしました。

学童からは、安心できる居場所づくりの中で子どもの本音が見えてきました。

少年団のとりくみでは、茶髪やピアスの中高生が指導員となって、小学生たちとことん話し合いを保障したり、行事にとりくむ中で、民主的な自治活動を父母とともにとりくんでいるいきいきとした活動が報告されました。

「語り合おう！教育問題」

『部活動』『総合的な学習』に関するレポート提案を手がかりにして、父母と教師とが本音で語り合い、大いに議論を深めることができました。中学校での部活動の実態と親子の期待とのずれや社会体育への移行の困難な状況等を共通理解することができました。また、選択教科の拡大や総合的な学習についても、保護者側の好意的な受けとめ方と実際の大きなギャップについて意見交換でき、有意義でした。

「教育は長い仕事」

記念講演ではテレビ放映のビデオを見た後、斎藤晴雄さんと一人一人の子どもたちとの心の交流の様子や熱い思いを聞き、何度も目頭があつくなりました。

二十一年前の学級目標が支えになつて「これがなければ真つすぐに歩いてこれなかった。」という女生徒の話をはじめ、子どもたちの一人一人を暖かく見つめる斎藤さんの人間性のすばらしさに感動し、勇気づけられた講演会でした。



さいたま市教職員組合 (埼教組)

TEL 641-6763
FAX 648-3567
e-mail
saitamasikyoso
@livedoor.com

2001.9.21(金)
No. 9